



12 月に入り、朝夕の冷え込みが一段と増してきました。そんな中でも子ども達は元気いっぱいに過ごしています。最近きっずる一むではお掃除ごっこがブームになり、子ども達は手作りの掃除機を掛けたり、モップで床を拭いたりと楽しんでます。中には部屋の隅から隅まできれいにする子や、物を移動して掃除をする子も！ おうちの方の様子が目に浮かぶようです。今年はおうちの大掃除でも、子ども達の活躍が見られるかもしれませんね。



飛行機ポーズ



A ちゃん(0 歳 6 ヶ月)は周りの物に興味津々。寝返りを繰り返しながら室内を移動し、“これ何だろう？”とお人形やボールに手を伸ばしていました。その中で見せてくれたのが『飛行機ポーズ』です。手足を宙に浮かせ、頭を上げてお腹だけでバランスをとっています。

保育者が「A ちゃん、飛行機ができるようになったね～」と声を掛けるとニコニコ。嬉しそうに何度も見せてくれました。

A ちゃんの姿から見る発達

A ちゃんの見せてくれた飛行機ポーズは生後5～6か月頃に見られ、生後7～8か月頃には少なくなっていく姿です。この短い期間にも赤ちゃんは頭をしっかりと支える首の筋力や姿勢の保持のための体幹などを鍛えられます。

この腹這いの姿勢は体を作るだけではなく、子どもたちの見ている世界を広げることに繋がっています。目の前にある物に手が触れて揺れたり音が鳴ったりすることで、子どもたちの興味はどんどん広がっていくのです。

なかなか思うように体を動かせない中でも“もっと見たい！”“触ってみたい！”という気持ちから、両手をついて一生懸命に体を持ち上げていきます。そして次第に片腕で体を支えて、玩具に手を伸ばすように…

子どもたちが“もっと見たい”“触ってみたい”と一番初めに思うのは玩具ではなく、大好きな人なんだそうです。目が合った時「見つけた～」と言っているかのように、にっこり笑う姿はとてかわいいですね。

ぜひ、一緒に同じ目線になり赤ちゃんの見ている世界を体験してみたいですね。

今年も早いもので残りわずかとなりました。保護者の皆様には今年もきっずる一むへのご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。

これからクリスマスや年越し、お正月など楽しいイベントが続きます。年明けにまた元気な子ども達に会えるのを楽しみにしています。

